

ピルの仕組みと応用

～OC・LEPを正しく理解するために～

OC・LEP使用の有無を意識した診療が求められています

低用量経口避妊薬(oral contraceptive: OC)は自費診療が行われており、また子宮内膜症に伴う月経困難症などの治療として保険診療で低用量エストロゲン・プロゲステン配合薬(low dose estrogen-progestin: LEP)が結構処方されています。

これらのピルを高血圧、喫煙、片頭痛などのある患者に投与されると静脈血栓塞栓症(VTE)あるいは心筋梗塞や脳卒中などの動脈血栓塞栓症(ATE)を増加させることが知られています。

2021年4月にはOC・LEPガイドラインの最新版が出版され、一部抜粋すると、OC・LEPは前兆のある片頭痛は投与禁忌(A)、前兆のない片頭痛は慎重投与(B)、35歳以上で1日15本以上の喫煙者への投与は禁忌(A)、35歳以上の習慣的喫煙者への投与は原則不可(B)、35歳未満の習慣的喫煙者に対しての投与は慎重に検討(B)、高血圧、喫煙女性の服用は心筋梗塞リスクを上昇させる(B)、高血圧、片頭痛を有する女性の服用は脳卒中リスクを上昇させる(B)、禁煙すると心血管疾患のリスクが低下(C)、などが記載されています。

どの診療科においても、日常診療でOC・LEP内服の有無を確認して診療することが求められており、この機会に本講演会を視聴いただければ幸いです。医師だけでなく看護師や薬剤師等の医療スタッフをはじめ、多くの方のご参加をお待ちしております。

(副会長/勤務医部会長 橋本 洋一郎)

日時

2022年 **2月24日** (木)
19:00 ~ 20:30

申込

(事前申込制・参加無料)

本講演会は、Zoomウェビナーを使用してライブ配信で行います。右のQRコードをスマホ等で読み取って必要事項を入力の上お申込みください。QRコードからのお申込みができない場合は、お電話でも受付いたします。



<http://bit.ly/3JklcKJ>

対象

医師および医療スタッフ
(保健師、看護師、薬剤師等)

講師

熊本大学大学院生命科学研究部
産科婦人科学講座 准教授 **大場 隆 氏**

エストロゲン・プロゲステロン療法(EPT)は女性に対して安全に女性ホルモン(エストロゲン)を補充するための手段ですが、この方法を応用することによって信頼性の高い避妊が可能となり、さらに月経に伴うさまざまな症状を調整できるようになりました。

講演では経口避妊薬(OC)と低用量経口エストロゲン・プロゲステロン配合薬(LEP)を理解していただくためのEPTの原理と応用についてお話しします。

(講師談)

【付帯講演】

『片頭痛とOC/LEP』

講師：**橋本 洋一郎 氏**

(協会副会長/熊本市民病院
首席診療部長)



LINE公式アカウント
友だち募集中!

主催：一般社団法人熊本県保険医協会

TEL：096-385-3330

Email：kumamoto-hok@doc-net.or.jp

後援：公益社団法人熊本県医師会